

【様式1】

令和5年度 授業改善推進プラン

東久留米市立第六小学校 第2学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・物語文や説明文を読むことには意欲的だが、問題文の読み取りに課題が見られる。 ・語彙が少ない児童や、促音や片仮名で表す言葉等を正しく書くことに課題が見られる児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題文の問いに線を引かせ、問いと答えが正対するよう授業で繰り返し指導する。 ・必要な児童には、一緒に音読したり問いと答えを探したりする補助をする。 ・必要な児童には、ルビ付きの教材やテストを活用する。 →読み取りのテストのミスを減らし、平均点を上げる。 (目標値：学級平均85点以上) ・促音や片仮名で表す言葉は、ICT機器や掲示物を使って視覚的に分かりやすくするとともに、間違い探しなどの活動を通して楽しみながら繰り返し指導する。 ・授業中に出てきた新出語句の意味を確認したり、短文作りを意識的に取り入れたりして言葉に触れる機会を増やす。 →正しい表記で100字程度の作文が書ける。 (目標値：80%以上の児童)
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・数量やその関係を言葉、数、式、図などに表したり読み取ったりすることに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物、半具体物を操作する活動や視覚的に捉えることができる教材などを多く取り入れて数量感覚を養う。図に表す機会を増やし、考える力を高める。 ・問題文は指でなぞって読み、キーワードと数字に印を付けることを指導する。 →単元テストにおいて平均点を上げる。 (目標値：平均85点以上)

生活	<ul style="list-style-type: none"> 人や物、自然との関わりを通じた、実感を伴った気づきに差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 人や物と積極的に関わることができるようにする。地域のお店や施設の見学等、体験学習を計画的に進め、観察や見学、発表を通して考えを深めることができるよう指導する。 各単元で、体験活動を一つ以上位置付ける。 →ワークシートに、活動を通して考えたことや気付いたことを書く欄を設け、単元ごとに振り返りの時間を設定して児童の思考や気づきを見取る。
特別の教科 道徳	<ul style="list-style-type: none"> めあてに対して真剣に考えることができる児童が多いが、よりよい生き方について考えることについては課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間の教材提示や授業展開を工夫し、自分事として考えることを意識させる。 道徳ノートにワークシートをまとめ、児童の変容に目を向けるとともに、児童自身がいつでも感想等を振り返ることができるようにする。 →児童の発言やワークシートの記述から、毎授業児童が自分のこととして考えているか丁寧に見取る。（目標値：ワークシートに自分のこととして考えを書いている児童80%以上）